

「ナフサ」不足で物がつくれない・・・

# 戦争が仕事とくらしに深刻な影響

日本政府は中東情勢の打開にむけ積極的な役割を

## 石油は足りてると首相は言うが・・・

カルビーのポテトチップスの袋が「白黒」になったことが話題です。カルビーはその理由を「中東情勢の緊迫化に伴い、印刷インクをはじめとする一部原材料の調達が不安定な状況になっている」ためと説明しています。

ポテトチップスの袋だけではなくありません。アメリカとイスラエルのイラン攻撃によるホルムズ海峡封鎖の影響で、石油化学製品の原材料である「ナフサ」が不足しており、食品用のトレーやラップ、美容室で使うヘアカラーやパーマ剤などが供給不足、建材不足で家の新築や改築ができないなど、くらしや産業の様々な面に悪影響が出ています。

高市首相は石油について「必要な量は確保できている」と発言していますが、市民生活への深刻な影響は広がる一方です。

## 政府は戦争をとめる努力を

関西経済連合会の松本正義会長は記者会見で、アメリカとイスラエルのイラン攻撃を「理不尽な戦争」と言い、「長期にわたり混乱が続けば日本と世界経済に甚大な影響を与える」と指摘し、「欧州連合の主要国は手を結んで戦争を阻止しようと動いている。日本には、その姿勢が欠けているのではないかと政府に対して苦言を呈しました。

政府は生活を守るための具体的な対策を打つとともに、戦争をやめるように当該諸国に強く働きかけるべきです。



## 「スパイ防止法」は必要ありません

高市政権は「スパイ防止法」の制定を狙っていますが、そもそも日本に必要なのない法律です。国の重要情報の漏洩を防ぐことは現行の刑法や公務員法などで十分可能であり、石破前首相は日本が「各国の諜報活動が非常にしやすいスパイ天国」であるとは考えていないとの認識を示しました。

また、戦争の放棄を掲げた憲法九条があるもとの、戦争につながる国民監視機関の設置や監視体制の強化は憲法違反であり、許されません。

「戦争する国」につながる「スパイ防止法」の制定に、反対しましょう。

